

# K 日本史問題

## 注意

1. 試験開始の指示があるまでこの問題冊子を開いてはいけません。
2. 解答用紙はすべてHBの黒鉛筆またはHBの黒のシャープペンシルで記入することになっています。HBの黒鉛筆・消しゴムを忘れた人は監督に申し出てください。(万年筆・ボールペン・サインペンなどを使用してはいけません。)
3. この問題冊子は12ページまでとなっています。試験開始後、ただちにページ数を確認してください。なお、問題番号はI・IIとなっています。
4. 解答用紙にはすでに受験番号が記入されていますので、出席票の受験番号が、あなたの受験票の番号であるかどうかを確認し、出席票の氏名欄に氏名のみを記入してください。なお、出席票は切り離さないでください。
5. 解答は解答用紙の指定された解答欄に記入し、その他の部分には何も書いてはいけません。
6. 解答用紙を折り曲げたり、破ったり、傷つけたりしないように注意してください。
7. この問題冊子は持ち帰ってください。

### マーク・センス法についての注意

マーク・センス法とは、鉛筆でマークした部分を機械が直接よみとって採点する方法です。

1. マークは、下記の記入例のようにHBの黒鉛筆で枠の中をぬり残さず濃くぬりつぶしてください。
2. 1つのマーク欄には1つしかマークしてはいけません。
3. 訂正する場合は消しゴムでよく消し、消しきらずはきれいに取り除いてください。

マーク記入例：

A	1	2	3	4	5
	○	○	●	○	○

(3と解答する場合)

I. 次の文1～3を読み、下記の設問A・Bに答えよ。解答は解答用紙の所定欄にしるせ。

1. 古代の歴史を知る手がかりの1つに、編纂された歴史書がある。6～7世紀にも『帝紀』や『天皇記』などの書物が編まれたといわれるが、それらは残っていない。<sup>1)</sup>現在利用できる8世紀前半に編纂された歴史書は、稗田阿礼が誦習した伝承を(イ)が筆録した『古事記』と、舎人親王が編纂に加わった『日本書紀』であろう。『日本書紀』に始まった官撰国史の編纂は、清和・陽成・光孝の三天皇の時代を記述した『日本三代実録』までで中絶し、そのあとは『宇多天皇宸記』のような天皇の日記や貴族の日記などが、歴史を伝えることになった。<sup>2)</sup>

10世紀には宮廷行事の整備が進み、その儀式の先例や作法を子孫に伝える必要が生じ、貴族は日記を書き記して残すようになった。こうした貴族の日記は、陰陽寮が作成した暦である(ロ)の余白部分に記されることが多く、10～11世紀の摂関政治を代表する貴族である藤原道長が記した『御堂関白記』も、その一例である。<sup>3)</sup>もちろん日記には、<sup>4)</sup>儀式の内容だけでなく、日々の感情が記される場合もある。たとえば(ハ)は『小右記』という自らの日記に、自分よりも先に大納言に昇進した(ニ)の悪口を記している。母親が『蜻蛉日記』の作者である(ニ)は、道長の異母兄にあたった。また『新古今和歌集』の撰者として著名な藤原定家も『(ホ)』という日記を記しており、この日記は12世紀から13世紀はじめ頃までの政治動向を知る重要な史料となっている。

2. 鎌倉時代になると、武士が台頭するなかで、軍記物語など流麗な和漢混交文の文学が発達するとともに、貴族を中心に、朝廷の儀式や先例などを、日記とは別に研究・記録していこうという有職故実の学が盛んになった。このあと室町時代にかけても、軍記物語や有職故実書は数多くつくられることになる。そして先例を重視する姿勢は鎌倉幕府にも持ち込まれ、<sup>5)</sup>やがて幕府は、源頼政の拳兵から、後嵯峨上皇の子で將軍となった(ヘ)が帰京するまでを編年体で記した『吾妻鏡』を編纂した。この歴史書が編纂されたと推定される13世紀後半から14世紀初頭にかけての時期は、執権北条氏のなかでも家督をつぐ得宗の勢力が拡大しており、<sup>6)</sup>『吾妻鏡』に北条氏を顕彰する記事が多いことから、編纂作業がその影響を受けたことは明らかである。

また同じ鎌倉時代に、天台座主であった慈円は『(ト)』という歴史書を著した。慈円はこのなかで神武天皇以来の歴史を叙述して、道理の推移を読み取ろうとし、貴族が没落し武家政権が成立した時代のありようを捉えようとした。慈円の兄は、鎌倉幕府

と良好な関係を築き『玉葉』という日記を書いた（チ）であり、この関係で慈円は幕府の動静にも詳しく、後鳥羽上皇に討幕の断念を訴えた。しかし後鳥羽上皇はこれを聞き入れず幕府と対立し、承久の乱が起こった。

応仁・文明の乱以降になると、<sup>7)</sup>朝廷儀式の多くは中絶し、公家が日記などの記録を活用する機会<sup>8)</sup>は減り、また戦乱による焼失で蔵書を失う公家も多数に上った。その後豊臣秀吉は、公家に家業に励むことを求め、また天皇家でも朝廷儀式の再興<sup>9)</sup>に向け、儀式の次第を記した公家や寺院の蔵書を書写するようになった。

3. 江戸時代の学問の世界は、儒学を学ぶことがすべての基礎であり、蘭学を学ぶにあたって儒学の素養は不可欠であった。幕府が政治顧問に儒者を登用するなど儒学を重視し、諸藩でも藩校が設立されたこともあって、儒学は広く研究されるようになった。そして儒学の歴史観にもとづき、<sup>10)</sup>歴史書の編纂や歴史の研究が行われた。こうして儒学は、政治と生活の道徳となり、やがて寛政の改革期になると、幕府は緩んだ武士の風俗を教化しようと、<sup>11)</sup>儒学のなかでも朱子学を正学と定めた。またこれにあわせて、朱子学を振興し人材を発掘するために、幕府は（リ）という試験制度を導入した。この試験では朱子学の理解の程度が試され、旗本・御家人とその子弟のうち15歳以上のものに受験資格があった。

また寛政の改革期に、幕府は林家の家塾を幕府直轄の学問所とし、地誌類や歴史書の編纂を担当させた。幕府が塙保己一を援助して江戸麹町に建てさせた（ヌ）では、古代からの文献を集めた『群書類従』が編纂されたが、これは学問所において編纂されたさまざまな書物とともに、現在の日本史研究の基礎文献となっている。

蘭学は、徳川吉宗が漢訳洋書の輸入を緩和したこともあって、18世紀後半から本格化した。なかでも仙台藩の蘭方医大槻玄沢は、蘭学の入門書である『（ル）』を著し、また、江戸に（ヲ）という蘭学塾を開いて多くの蘭学者を教育した。さらに高橋景保の建議によって、幕府が天文方に蛮書和解御用を設けると、そこでの翻訳作業にも従事した。オランダ語の需要の高まりとともに、オランダ通詞もさまざまな蘭書を翻訳するようになった。<sup>12)</sup>オランダ商館付き医師であったケンペルが書いた『日本誌』の一節を翻訳する際に、「鎖国」という用語を初めて用いた志筑忠雄も、元オランダ通詞であり、『（ワ）』を著してニュートンの万有引力説やコペルニクスの地動説を紹介した。こうして蘭学は医学・天文学・地理学などの分野を中心に発展を遂げた。

- A. 文中の空所(イ)～(ワ)それぞれにあてはまる適切な語句をしるせ。
- B. 文中の下線部1)～12)にそれぞれ対応する次の問1～12)に答えよ。
- この時期の美術作品に関する記述として正しくないのはどれか。次のa～dから1つ選び、その記号をマークせよ。
    - 広隆寺半跏思惟像は、鞍作鳥（止利仏師）の作と伝えられる
    - 中宮寺天寿国繡帳は、橘大郎女がつくらせた
    - 法隆寺金堂釈迦三尊像は、北魏様式の影響を受けている
    - 法隆寺玉虫厨子の須弥座には、捨身飼虎の図が描かれた
  - この人物の在位中の出来事として正しいのはどれか。次のa～dから1つ選び、その記号をマークせよ。
    - 菅原道真が大宰権帥に左遷され、任地で死去した
    - 伴善男が、応天門に放火した犯人として失脚させられた
    - 藤原基経が、勅書の起草にあたった橘広相の責任を追及した
    - 源満仲の密告によって、左大臣の源高明が大宰府に流された
  - この時期の文化に関する記述として正しいのはどれか。次のa～dから1つ選び、その記号をマークせよ。
    - 高野山聖衆来迎図には阿弥陀如来の姿が、濃絵の技法で描かれた
    - 仏師の定朝が寄木造の技法で、平等院鳳凰堂阿弥陀如来像をつくった
    - 夜光貝や芋貝などを切って漆器に埋め込む蒔絵の技法が用いられた
    - 良源は比叡山中興の祖とも称され、『日本往生極楽記』を著した
  - これに応じた政務の実態に関する記述として正しくないのはどれか。次のa～dから1つ選び、その記号をマークせよ。
    - 多くの政策は、天皇の決裁を経て、太政官符・宣旨などで命令・伝達された
    - 檢非違使庁は、地方の国司と太政官との文書行政を担当した
    - 重要な事柄は、内裏の左近衛陣で行われる陣定により審議された
    - 藤原道長は、天皇に上奏される文書などを閲覧する内覧の地位にあった
  - 鎌倉・室町時代につくられたこれに関して、著者もしくは編纂者と書名の組み合わせとして正しいのはどれか。次のa～dから1つ選び、その記号をマークせよ。
    - 一条兼良—職原抄
    - 北島親房—公事根源
    - 後白河天皇—禁秘抄
    - 後醍醐天皇—建武年中行事

6. これに関する記述として正しくないのはどれか。次の a～d から 1つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 内管領平頼綱が、有力御家人の安達泰盛を滅ぼした
  - b. 各地の守護や地頭の地位の多くは、得宗一門のものとなった
  - c. 北条貞時は内管領長崎高資を滅ぼし、幕府の全権を握った
  - d. 北条氏の一門が鎮西探題に派遣され、九州を管轄した
7. この後の出来事に関する記述として正しいのはどれか。次の a～d から 1つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 関東申次となった西園寺公経が、娘を後深草天皇に入内させた
  - b. 西国を中心に、新補率法を適用した地頭が設置された
  - c. 幕府は、後鳥羽・土御門・後堀河の 3 上皇を配流した
  - d. 北条義時と北条泰時が京都に留まり、朝廷の監視などにあたった
8. これ以降の出来事に関する記述として正しいのはどれか。次の a～d から 1つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 京都五山の祭礼である祇園会が、京都の町衆によって復興された
  - b. 幕府は撰銭令を出して、私鑄銭の製造を奨励した
  - c. 山城の国一揆による自治的支配の様子が、『大乘院寺社雑事記』に記録された
  - d. 連歌師の二条良基が正風連歌を確立し、『新撰菟玖波集』を編んだ
9. 次の史料は、この人物が出した外国人宣教師の追放を命じた法である（一部省略および表記を改めている）。この史料中の空所（ ）にあてはまる適当な語句を漢字 3 字でしるせ。
- 一、日本は神国たるところ、きりしたん国より邪法を授け候儀、はなはだもって然るべからず候事。
- 一、その国郡の者を近付け門徒になし、神社仏閣を打ち破るの由、前代未聞に候。
- 一、（ ）その知恵の法をもって、心ざし次第に檀那を持ち候と思し召され候へば、右の如く日域の仏法を相破る事曲事に候条、（ ）の儀、日本の地にはおかせられまじく候間、今日より二十日の間に用意仕り帰国すべく候。

10. これに関する記述として正しいのはどれか。次の a～d から 1つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 古学派の山鹿素行は、『聖教要録』を著して朱子学を批判した
  - b. 本多利明は『経済要録』を著して、経世論にもとづく富国策を説いた
  - c. 山崎闇斎は『論語古義』を著して、朱子学と神道を結びつけた垂加神道を唱えた
  - d. 陽明学を学んだ熊沢蕃山は、『中朝事実』を著して幕政を批判した
11. これに関する記述として正しくないのはどれか。次の a～d から 1つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 新井白石は『読史余論』を著して、武家政治の歴史的正当性を主張した
  - b. 稲生若水は『庶物類纂』を著して、『日本書紀』の合理的な解釈を試みた
  - c. 林羅山・林鶯峰父子が、編年体の史書『本朝通鑑』を編集した
  - d. 水戸藩主の徳川光圀が、紀伝体の史書『大日本史』の編纂に着手した
12. これに関する記述として正しいのはどれか。次の a～d から 1つ選び、その記号をマークせよ。
- a. オランダ商館では将軍の代替わりごとにオランダ風説書を作成して、幕府に海外情報を伝えた
  - b. オランダ商館に来航するオランダ船の年間貿易額は、18世紀以降、銀高6000貫に制限された
  - c. オランダ商館は東インド会社の本店とされ、バタヴィアの支店を管轄した
  - d. 平戸にあったオランダ商館は、幕府によるポルトガル人の追放後、長崎の出島に移された

Ⅱ. 次の文を読み、下記の設問 A～C に答えよ。解答は解答用紙の所定欄にしるせ。

中世末期から近世初期に、不十分な交通体系の下での隔地間交易や朱印船貿易によって巨大な富を得た特権的商人である初期（イ）は、その後、江戸幕府による国内交通網の整備や海外貿易の制限などにより、急速に衰えていった。他方、近世以後の農業や諸産業の発展は、江戸・京都・大阪の三都を中心に全国的な商品流通市場の形成をうながし、それに対応して活躍したのが、上方の商人たちであった。17世紀後半になると、上方商人たちは、盛んに江戸に進出した。伊勢国出身の三井高利もその1人であった。三井は、1673年に京都に呉服の仕入店、江戸に販売店を開き、松坂で仕入れた木綿とあわせて、「現金掛け値なし」を看板に商売を大きく広げていった。また三井は、江戸の売上金を仕入資金として上方に送金する必要があったため、為替取組などを行う両替商も兼営した。

幕末の開港後、三井は、幕府の要請を受けて、江戸本店の出店として横浜店を設けた。横浜店は呉服販売のほか、貿易などに関する公金出納も行っていたが、こうした幕府の御用は、三井の経営を大きく圧迫した。幕末の政治的混乱のなかで、三井は幕府との密接な関係を維持しつつも、薩摩藩との関係も深めていき、新政府発足後は、小野組、島田組とともに、為替方三家として、官金出納業務にあたった。1871年の「円・銭・厘」の十進法を採用した（ロ）の制定、翌年の国立銀行条例の公布など、貨幣・金融制度の整備が進められるなか、政府の認可を得て、三井は日本最初の私立銀行である三井銀行を創立した。創立当初の三井銀行は、官金取り扱いを主な業務としていたが、大藏卿（ハ）によって日本銀行が設立されると、民間商業銀行への転身をはかった。また三井は、一時的に政界を離れていた長州藩出身の井上馨らが立ち上げた貿易会社を引き継ぐ形で、1876年に三井物産を設立した。

新政府は、殖産興業政策を進め、1870年設立の＜あ＞が中心となり、鉄道や鉱山、造船所、製糸場などを官営事業として経営した。しかし、大藏卿に（ハ）が就任すると、財政負担の軽減を図るため、官営事業払下げが本格化した。三井も官営時代から三井物産との関係が深かった＜い＞を傘下に収めることに成功した。＜い＞は、後年に三井合名会社の理事長となった（ニ）の経営により、「三井のドル箱」と呼ばれるまでに大きく発展し、ここに銀行・物産・鉱山という三井財閥の基盤が成立した。その後、第一次世界大戦の前後から三井は重化学工業部門に進出するとともに、信託・保険などの金融事業も強化し、持株会社の下に多くの企業を組織する巨大な財閥となった。三井は三菱、住友、（ホ）とともに四大財閥と称されるようになり、1932年時点で、持株会社の三井合名会社を頂点に傘下企業は、62社を数えた。

1929年のニューヨークでの株価暴落を契機とした世界恐慌、さらに1930年に濱口雄幸<sup>8)</sup>  
内閣で実施された金解禁により、日本経済は深刻な恐慌に陥った。この未曾有の不況下で、  
傘下の三井物産や三井銀行が円相場の下落を見込んで、円売り・ドル買いをしているとし  
て、三井財閥は、世論から大きな非難を浴びた。財閥批判が高まるなかで、1932年、血盟  
団員に（ニ）が暗殺され、三井財閥においても、社会事業への寄付や株式公開など、  
「財閥の転向」と呼ばれる様々な改革が行われた。

1937年に日中戦争がはじまり、同年に臨時資金調整法などが公布され、戦時体制が強化  
されると、三井財閥を取り巻く環境も大きく変化していった。<sup>11)</sup>三井財閥は、親英米派の立  
場を崩さなかったものの、国策に沿って事業の多角化や事業範囲の拡大を進め、1941年の  
アジア太平洋戦争開戦後は、三井物産を中心に中国や南方占領地の経営に深く携わること  
になった。

1945年9月2日に東京湾上のアメリカ軍艦（ヘ）号で日本政府および軍代表が降伏  
文書に署名し、約8年間におよんだ戦争は終結した。戦時中に親米主義・自由主義と目さ  
れて軍部から批判を受けていた三井財閥は、戦後の状況に楽観的な見通しを持っていた。  
しかし、G H Qが様々な占領政策を進めるなかで、軍国主義の経済的基盤とみなされた財  
閥に対しては、解体が指令され、<sup>12)</sup>（ト）がその実施機関となった。1947年に独占禁止  
法によってカルテルやトラストが禁止され、また（チ）法によって、以後、巨大独占  
企業の分割が行われた。そのなかで最も過酷な事態に直面したのが、三井物産と三菱商事  
であった。両社は徹底的な解体が命じられ、三井物産は約220社、三菱商事は約140社に  
分割された。1949年には、三井、三菱、住友の各社に対して、これまでの商号や商標の使  
用禁止も命令された。

1952年に日本が独立国としての主権を回復すると、旧商号・商標の利用が可能になり、  
旧財閥系企業は、社長会を結成するなど、戦前の財閥とは異なる形であったが、再び関係  
を深めるようになった。人的な面だけでなく、金融面での関係も強まり、高度経済成長期  
には、三井、住友、富士などの都市銀行による系列融資や企業間の株式の相互持ち合いな  
どを通じて、六大企業集団が形成された。<sup>13)</sup>こうした企業集団は、1970年に大阪で開催され  
た日本（リ）において、共同でパビリオンを開設するなど、様々な面で結びついてい  
た。しかし、2度の石油危機、プラザ合意後の不況、さらにはバブル経済崩壊後の1990  
年代以降、<sup>14)</sup>要であった銀行の再編・合併、さらには日本経済の国際化により、今日、企業  
集団も大きく変化している。



A. 文中の空所(イ)～(リ)それぞれにあてはまる適当な語句をしるせ。

B. 文中の空所〈あ〉・〈い〉にあてはまる適当な語句を、それぞれ対応する次の a～d から 1つずつ選び、その記号をマークせよ。

- |             |         |
|-------------|---------|
| 〈あ〉 a. 工部省  | b. 内務省  |
| c. 農商務省     | d. 民部省  |
| 〈い〉 a. 足尾銅山 | b. 阿仁銅山 |
| c. 高島炭鉱     | d. 三池炭鉱 |

C. 文中の下線部 1)～14)にそれぞれ対応する次の問 1～14)に答えよ。

- これに関する記述として正しいのはどれか。次の a～d から 1つを選び、その記号をマークせよ。
  - 主な関所として、東海道に箱根・新居、中山道に碓氷・小仏、甲州道中に本曾福島が設けられた
  - 18世紀前半に酒荷専用の菱垣廻船の運航が開始された
  - 宿駅に置かれた本陣は、親藩と譜代大名、幕臣のみが利用できた
  - 五街道は幕府の直轄下に置かれ、17世紀半ばから道中奉行によって管理された
- これに関する記述として正しいのはどれか。次の a～d から 1つを選び、その記号をマークせよ。
  - 安政の五カ国条約は、アメリカ、オランダ、イギリス、フランス、ドイツの5カ国と締結した修好通商条約の総称である
  - 外国人は居留地のみ居住が許されたが、商取引は居留地外で自由に行えた
  - 自由貿易は、1859年に横浜、長崎、箱館の3港で始まった
  - 幕末期を通して最大の貿易相手国は、アメリカであった
- これに関する記述として正しくないのはどれか。次の a～d から 1つを選び、その記号をマークせよ。
  - イギリス公使パークスは、幕府支持の立場で軍事・財政の援助を続けた
  - 桜田門外の変の後、老中の安藤信正は、公武合体政策を進めた
  - 14代将軍をめぐる将軍継嗣問題で、越前藩主の松平慶永は一橋慶喜を推した
  - 八月十八日の政変により、三条実美ら急進派の公家が京都から追放された

4. これに関する記述として正しいのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. この条例に基づき、日本勸業銀行、日本興業銀行、台湾銀行が設立された
  - b. 1876年に改正されるまで、国立銀行の設立は数行にとどまった
  - c. 高橋是清を中心に制定された
  - d. フランスの制度を模範として制定された
5. この人物に関する記述として正しいのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 初代外務大臣として、外国人の内地雑居を認める代わりに領事裁判権を撤廃する条約改正交渉を進めた
  - b. 第 2 回総選挙では、内務大臣として激しい選挙干渉を行った
  - c. ドイツ人顧問モッセの助言を受けて、地方制度の改革を進めた
  - d. 山口県萩で発生した前参議・前原一誠の反乱に加わるため、政界から下野した
6. この大戦中の日本に関する記述として正しいのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. アメリカに次ぐ世界第 2 位の海運国となった
  - b. 戦争で不況となったアメリカに対して、生糸輸出が急減した
  - c. ドイツからの輸入が途絶したため、化学工業が急速に発達した
  - d. 八幡製鉄所が拡充され、国策会社の日本製鉄会社が誕生した
7. これに関する記述として正しくないのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 政商と呼ばれた創業者の岩崎弥太郎は、土佐藩の出身であった
  - b. 日本郵船会社は、三菱会社と共同運輸会社が合併して設立された
  - c. 三菱は、財閥内に金融部門を持たず、海運部門と重工業部門を中心に発展した
  - d. 三菱は、台湾出兵の軍事輸送を契機として、日本政府の手厚い保護を受けた
8. この内閣の外交政策に関する記述として正しいのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 「国民政府を相手とせず」という声明を発表した
  - b. 第 4 次日露協約を締結し、極東における両国の特殊権益を確認した
  - c. 日満議定書を締結して、満州国を承認した
  - d. ロンドン海軍軍縮条約に調印した

9. 1930年代のこれに関する記述として正しいのはどれか。次の a ~ d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 議会での井上準之助蔵相の失言により、銀行の取り付け騒ぎが生じた
  - b. 鈴木商店が倒産し、台湾銀行が休業に追い込まれた
  - c. 重要産業統制法が公布され、指定産業でのカルテル結成をうながした
  - d. 対米輸出が増加し、生糸・繭の価格が暴騰した
10. これを率いた人物は誰か。その名をしるせ。
11. この法律と同時に公布された貿易に関する法律は何か。その名をしるせ。
12. これに関する出来事 a ~ d のうち、もっとも古いものを解答欄の i に、次に古いものを ii に、以下同じように iv まで年代順にマークせよ。
- a. 教育基本法を制定した
  - b. 公職追放を発令した
  - c. シャウプ勧告に基づく税制改革を行った
  - d. 人権指令を発した
13. この 1 つで、山一証券の破綻と同年の1997年に破綻した銀行は何か。その名をしるせ。
14. この時期の出来事に関する記述として正しくないのはどれか。次の a ~ d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. アメリカの要求により、オレンジと牛肉の輸入自由化が決定した
  - b. 1990年はじめから株価が下落し、バブル景気は1991年に入ると後退しはじめた
  - c. 1985年の 5 カ国蔵相・中央銀行総裁会議（G 5）での合意により、円安が加速した
  - d. 第 1 次石油危機後の1975年に日本を含む 6 カ国の首脳による先進国首脳会議が開催された

【以下余白】